



アカミミガメの防除（捕獲・回収）の各自治体の対応

アカミミガメ⇒以下、カメと言います。

東三番街自治会環境専門委員会

正式名称ミシシッピアカミミガメ(アメリカ・メキシコが原産地の条件付特定外来生物) (幼体：ミドリガメ) 雑食で水生植物、水生昆虫、魚類等に影響を及ぼす、寿命は約40年、大きいもので30センチ

神戸市	明石・神戸アカミミガメ対策協議会(2017年設立) (両市域の明石川及び瀬戸川におけるアカミミガメ対策) ☆国の交付金、両市から負担金を受けている	兵庫県	市が回収・補助金・研究施設保管 神戸市立須磨海浜水族園の亀楽園(きらくえん)	2022年度補助金は予算到達で募集終了 捕獲数953匹 2023年度補助金 補助金交付決定後～2023年12月28日の防除活動 (5匹以下1万～36匹以上5万) 募集団体：20団体 ☆神戸市は「自然環境保全活動補助事業」の一環としてアカミミガメ防除活動を行っている
明石市	明石・神戸アカミミガメ対策協議会(2017年設立) (両市域の明石川及び瀬戸川におけるアカミミガメ対策) ☆国の交付金、両市から負担金を受けている	兵庫県	市が回収・プールで保管 (2022/8時点3000匹位?)	キャンペーン期間中：カメ回収ポスト(市内13カ所) または市役所持込またはカメダイアルに電話して自宅等で引取り H23～R3で15,203匹防除 ☆明石市は「あかし生態系を守る条例」で生態系に影響を及ぼす動植物を指定外来種と指定して、放逐等の禁止など、その取扱いを規定
丹波篠山市		兵庫県	篠山城跡のハス復活プロジェクト(2005年頃からハスが消滅) 市が回収・焼却?	カメ回収ポスト、市役所に持込みまたはカメダイアルに電話して自宅等で引取り(2022/11現在1,427匹防除) ☆2015年に市民・神戸大学と連携して「農都ささやま外来生物対策協議会」を設立してお堀のアカミミガメ等の外来生物の防除調査やイベントを実施。
大和郡山市		奈良県	金魚の名産地⇒金魚への食害 市が回収・焼却?	市役所へ直接持ち込み
蓮田市		埼玉県	・黒浜沼のハスが2016年突然消滅、沼に生息する外来種であるアカミミガメやアメリカザリガニによる食害が疑われているが、消滅の原因は判っていない ・黒浜沼はホタルの里として有名 ・黒浜沼は埼玉県自然環境保全地域に指定 ・沼周辺には絶滅危惧種のワレモコウ等の植物が群生 黒浜沼：7.32ha ※アーバン遊水地A4：15.1ha 市が回収・焼却	ボランティアが下記方法で捕獲 (NPO法人黒浜沼周辺の自然を大切に作る会?)  カメトラップ →  カメ風呂桶 蓮田市「みどり環境課」が回収(犬等が道路でひかれた際の仕組みを使い)、環境センターで焼却処分
川越市		埼玉県	伊佐沼の古代ハスが全滅、ハスの管理している「伊佐沼の蓮を咲かそう会」がアカミミガメの捕獲に乗り出した。(2023年8月)伊佐沼は埼玉県最大の沼 ボランティアが捕獲・運搬・市が冷凍処分	同会の要請で川越市環境部が知事宛てに特別採捕(さいほ)許可を申請。許可が下りたことから同会は今年(2023年8月)から半年間で捕獲。カメは伊佐沼を管理する場所に一時保管、その後清掃センターに運び冷凍処分 ※同会はアカミミガメがハス消滅の原因を証明 ☆埼玉新聞に掲載されてます。
鳴門市		徳島県	県・JA・生産農家が捕獲	全国有数のレンコン産地の鳴門市でアカミミガメの食害で2012年～18年間で約1万匹を駆除、レンコンの食害沈静化

札幌市、新潟市、仙台市、千葉市、川崎市、横浜市、相模原市、静岡市、浜松市、名古屋市、大阪市、堺市、京都市、岡山市、広島市、北九州、熊本市⇒全ての政令都市自治体で支援なし

佐鳴湖(さなるこ)	浜松市	全国の湖沼の水質調査が常にワースト10、佐鳴湖に生息する外来生物「アカミミガメ」を市民の力で防除	アカミミガメ駆除活動に必要なカメ用の罫購入費用や、それを「とって食べる」⇒カメカレーのための調理費用を集めるため、クラウドファンディングを実施。(2018年に約38万)
※京都市淀城跡お堀のハス復活プロジェクト、静岡県のカメハメハ王国(相良自然環境塾)、東京都の認定 NPO 法人生態工房他			

アカミミガメ防除（捕獲・回収）の自治体対応の要件

1. 自治体主導で防除活動（神戸市、明石市）

①自治体が長期間、自然環境保全活動を積極的に推進している事（明石・神戸アカミミガメ対策協議会2017年～） ②回収後の仕組み（保管スペース等）が確立している事

2. アカミミガメの実害から自治体が防除活動（丹後篠山市、大和郡山市、蓮田市、川越市、鳴門市、佐賀市⇒佐賀城跡）

①ハスが消滅（丹後篠山市、蓮田市、川越市、佐賀市）、食害（大和郡山市、鳴門市）の実害が明確になっている

※丹後篠山市は2014年から篠山城跡のお堀のアカミミガメの駆除を行っている。丹後篠山城跡のハスや佐賀城跡のハスは観光資源になっている。

※蓮田市は2018年から黒浜沼のアカミミガメの駆除について市議会で一般質問されている。（2017年に予算確定した駆除装置の制作と駆除の現状他）

丹波篠山城跡お堀（2005年以前）のハス



2014年のハスが消滅



2021年のハスが復活



アカミミガメの殺処分（環境省のガイドライン）※同ガイドライン⇒明石・神戸アカミミガメ対策協議会を一部モデルケースの可能性大、組織の立上げ、捕獲用具（数十万）等

①アカミミガメ捕獲後、生き物なのでフリーザー（-20度で2日間）で殺処分（明石・神戸の様な協議会を立上げ、協議会メンバーが） ⇒一般住民にはハードルが高い

廃棄は各自治体の廃棄物処理基準に従い、一般ごみまたは事業系ごみとして廃棄します。 ☆フリーザー200Lで約3万～約4万

②大量のアカミミガメが捕獲された場合、フタ付のコンテナボックスなどに直接日光が当たらない様に保管。堆肥化（たいひか）する。（夏場約1ヶ月、冬場約数ヶ月）

（同上：協議会メンバーが実施）（堆肥化の場所の確保） ⇒一般住民にはハードルが高い

深作多目的遊水地のアカミミガメ対策についてのさいたま市への提案・結果、斉藤市議の市議会でのさいたま市回答

1. 「わたしの提案」

①塚本さん'20/11/26 アカミミガメの被害で遊水地が水草も生えなくなった。「アカミミガメ捕獲後の処理（回収）について蓮田市方式でさいたま市に回収依頼」

<回答> アカミミガメの捕獲・回収について、現時点では実施の予定はありません。

路上などのカメの死体の処理に関する御依頼については、犬、猫などの死体処理と同様、お住まいの区役所のくらし応援室で受付けてます。

②三好さん'23/8/10 '23/8/31追加質問

『さいたま市も、神戸市に続いて特定外来生物「アカミミガメ」の防除（捕獲・回収）のシステム構築』

<回答> 現時点ではアカミミガメは積極的な防除の対象種になっておらず、市が主体となった捕獲、回収等は困難な状況

周知については、アカミミガメの規制周知用チラシ配架先の増設やさいたま市ホームページの見直し

2. さいたま市ホームページ「アカミミガメ、アメリカザリガニ」について

・川等で捕まえてしまった場合、捕獲してすぐにその場で放す（キャッチ&リリース）か、**その場で殺処分**してください

・アカミミガメやアメリカザリガニを市役所や区役所に持ち込まれても、**市で殺処分を行うことはできません。**

3. 斉藤市議：9月定例会でのアカミミガメ防除（捕獲後の殺処分対応について）

さいたま市回答：環境省のガイドラインでは、冷凍等の殺処分。殺処分後のアカミミガメは市の焼却施設に持込み、一般廃棄物として受入れ。⇒HPで周知します。

深作多目的遊水地のアカミミガメ防除についての行政への再々提案での課題

0. 深作多目的遊水地でのアカミミガメによる実害を証明する事。⇒さいたま市が遊水地のアカミミガメの実害を認識する事が大前提。 <遊水地の水草が消滅等>

0. ①環境省のガイドラインは防除組織・体制の確立が前提、一般住民にはハードルが高すぎる。 ②さいたま市はアカミミガメの生きたままの回収、殺処分を行う見解が無い。

※蓮田市：市が生きたまま回収・焼却 川越市：市が冷凍処分